

記入例

朝倉市長 殿

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

造林(伐採)の期間の末日から30日以内に提出する必要があります。

令和3年2月22日

(令和9年4月20日)

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告をしてください。

報告者：住所 朝倉市菩提寺412番地2

氏名 朝倉 太郎

朝倉 印

年月日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載してください。

朝倉市 (大字) 朝倉 字 朝倉 1 番地 1

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.50 ha		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100 %
伐採樹種	すぎ		
伐採の期間	令和3年1月10日 から 令和3年1月30日 まで		

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林	植栽	令和3年2月1日～ 令和3年3月31日	ひのき	0.50 ha	1,300 本
天然更新	天然下種更新	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	その他広葉樹	0.50 ha	本

4 備考

伐採後に宅地造成を予定(転用予定時期：令和3年8月)

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

・伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、その用途を記載してください。
・相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合は、当顔相続等にかかり情報を記載してください。